

登録番号 13 — 035

氏名 阿波雅士

登録番号 15 — 012

氏名 三浦紀夫

登録番号 18 — 008

氏名 深沢 周代

大阪市地域公共人材活動報告書

1 派遣日時 令和4年12月6日(火) 10:00 ～ 12:00
(初回ヒアリング)

2 派遣場所 西島こども食堂

3 参加人員 6人

4 活動内容

派遣内容（ミッション）

当該団体からは、「ブログ内で魅力のある西島こども食堂がわかりやすく伝わるように表現方法を知りたい」というメインテーマをいただきました。さらには、運営コストを削減することも重要な課題と受け止めて、今後の広報のありかた、運営コストの削減策などを提案できるようにすること。

支援内容（どんなことをしたか）

今回は、全面的にヒアリングのみを行った。

具体的にどんな活動をされているかという資料をご用意してもらっていたので、どんな運営状況なのかを把握でき、今後の方向性を共有できるようになった。

最初なので、信頼関係構築にも力を入れることとして、簡単にできるコスト削減の提案などができた。

成果（話合いの結果、今後の予定）

(団体の現状、整理事項)

- ・基本的に、すべておひとりで運営されていることがわかった
- ・団体の方がマンパワーで動いている状況なので、サポートメンバー（ボランティア活動で支援してくれる人）が求められている
- ・助成金だけでは運用できず、持ち出し状態が続いているので、あらたな助成金や寄付金募集等の運営コストを生み出す必要があると同時に、削減できるコストについても提案が必要であること
- ・現在のホームページやブログ投稿内容や広報物を見る限り、広報活動の改善が必要であること

以上が、今後の予定を組み込むにあたり、整理できた内容。

(課題)

- ・広報活動としてのホームページやチラシなどの見直し。
- ・コスト削減できるものはないかを検討する。
- ・寄付金や物品的な支援等をもらえるようにする。

(その他)

前向きに寄付金募集する取り組みと現状のコスト削減という両面を常に念頭において進める必要があるので、4回は最低必要だと判断している。

(所感)

今回の派遣では、団体の方の熱い思いを感じることができたことがよかった。ただ、子ども食堂で配布する食糧品などを自分の車庫を使っておられて、車もないという状況のために、レンタカーを使いながら、食糧品の回収をされていること。また、広報に関してもコストをかけないことを前提にされているため、誰に何をどのようにという基本的なコンテンツがそろえることができていないため、なかなか団体の方の努力が成果につながりにくいことを感じた。

公共人材のメンバーは、こども食堂についてご理解ある方と一緒にだったので、とても心強い感覚をもって取り組むことができそうなので、1回の派遣時に、効率的な進め方を考慮しつつ、西島こども食堂さんにお役立てできるようにしていきたい。

(所感)

今回の派遣は、老人憩いの家を利用したこども食堂の運営をされている団体様からのご依頼ということでした。私はこども食堂も実施している老人憩いの家管理者という立場を明確にして、悩みどころに共感しながら問題解決のお役に立てればと考えています。助成金のことやブログ運営については、一緒に派遣されている他の公共人材の方のほうが詳しいと思います。私は地域コミュニティの運営実例を示しながら、ご依頼団体様にあった解決方法が見つかるように努めたいと思います。

(所感)

学生のボランティアや地域の人々の人手も多くこども食堂運営の現場としてはとても素晴らしい活動になっていると思いました。ただ、ご本人の「自分がやるべき」という気持ちや「協力してくださっているからこそのお礼をする」という意識が強く、それゆえに経費や労力が団体の方に大きくのしかかっていると感じました。

その上で今後は

- ・広報を中心に「専門性」や「担当」として頼れる実働ボランティアメンバーの探し、仕事を任せられるようにすること。
- ・寄付金の振り込み先や、活動についてのPRが見える化し、情報が寄付をしてくれる人に届くように整えること。

またそれを継続して発信すること。

以上が課題だと感じました。